

# 未来に向けた「南越前町まちみらいアンケート調査」

(人口ビジョン・総合戦略策定に関するアンケート調査)

## 結果報告書概要

### 1. 調査の概要

○以下の内容で、調査を実施しました。

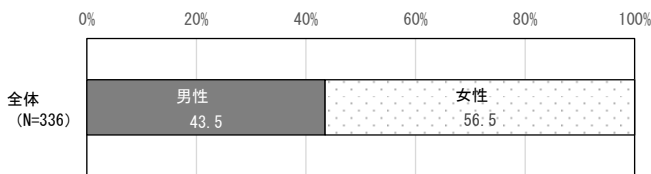
- 調査区域：南越前町全域
- 調査対象：16歳以上39歳以下の方の中から1,000人を無作為抽出
- 調査期間：令和元年9月20日（金）～10月7日（月）
- 調査方法：調査票を郵便にて配布・回収
- 配布数：1,000票
- 回収数：336票（回収率33.6%）

### 2. 回答者の属性

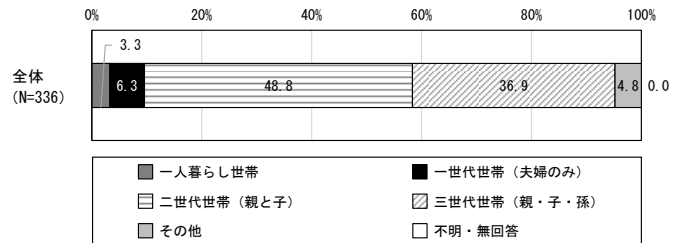
○回答者の属性は、以下の通りです。

- 性別：男性 43.5%、女性 56.5%
- 年齢：16～19歳 19.6%、20～23歳 10.7%、24～27歳 13.7%、28～31歳 15.2%、32～35歳 18.2%、36～39歳 22.0%、不明・無回答 0.6%（令和元年9月1日現在）
- 家族構成：一人暮らし世帯 3.3%、一世代世帯（夫婦のみ） 6.3%、二世帯世帯（親と子） 48.8%、三世帯世帯（親・子・孫） 36.9%、その他 4.8%
- 居住地区：南条地区 56.0%、今庄地区 31.8%、河野地区 10.7%、不明・無回答 1.5%

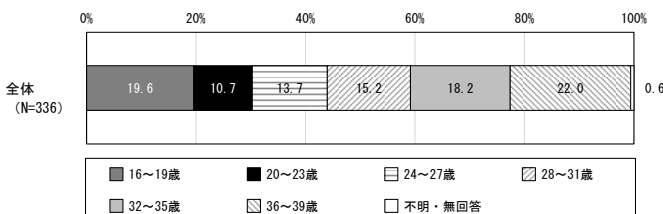
<性別>



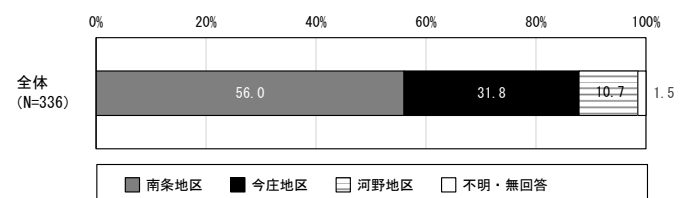
<家族構成>



<年齢>



<居住地区>

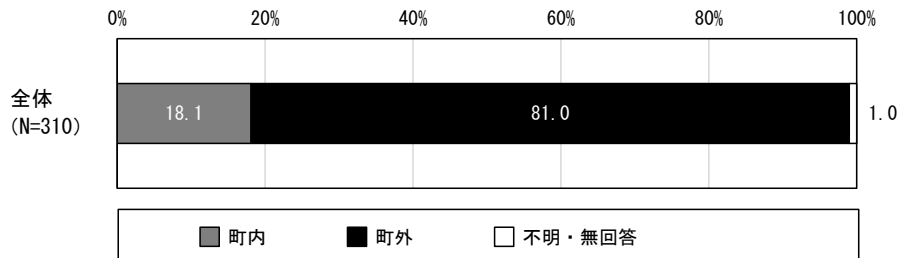


### 3. 調査結果（概要）

#### 【通勤・通学に関すること】

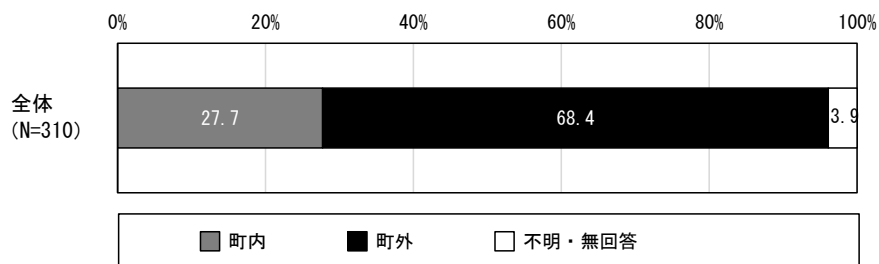
- 現在の就労・通学先は、「町外」が81.0%、「町内」が18.1%となっています。

前回調査（平成27年実施）より、「町外」の割合が3.7ポイント増えています。【問5（1）】

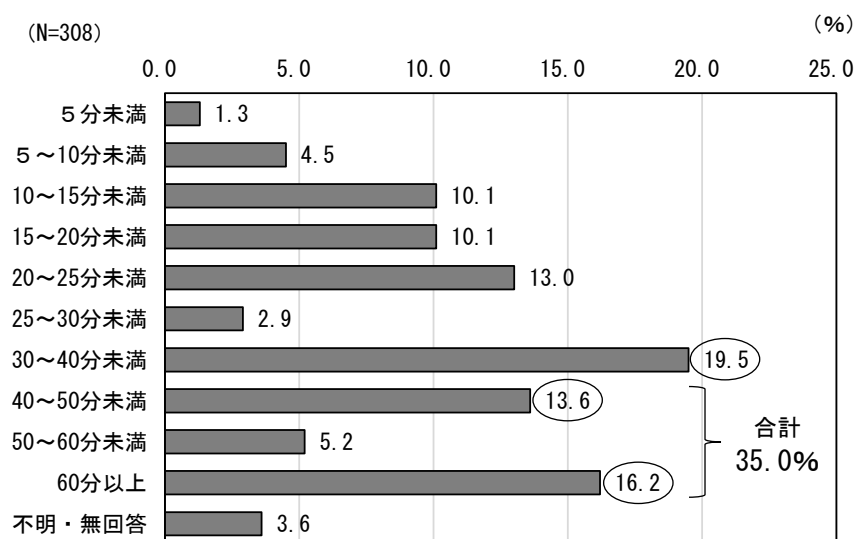


- 将来仕事をしたい場所は、「町外」が68.4%、「町内」が27.7%となっています。

【問5（3）】

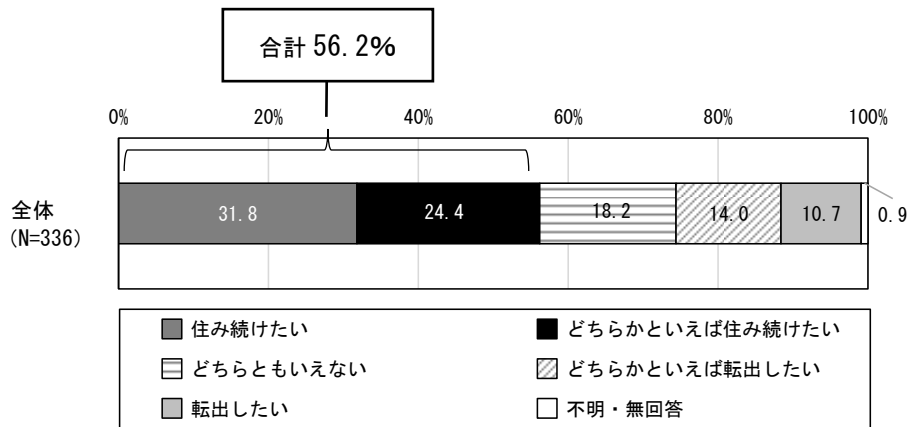


- 家から就労・通学先までの移動時間は、「30～40分未満」が19.5%と最も多く、次いで「60分以上」が16.2%、「40～50分未満」が13.6%となっています。通勤・通学先まで40分以上の方（「40～50分未満」「50～60分未満」「60分以上」の合計）は35.0%です。【問5（2）】

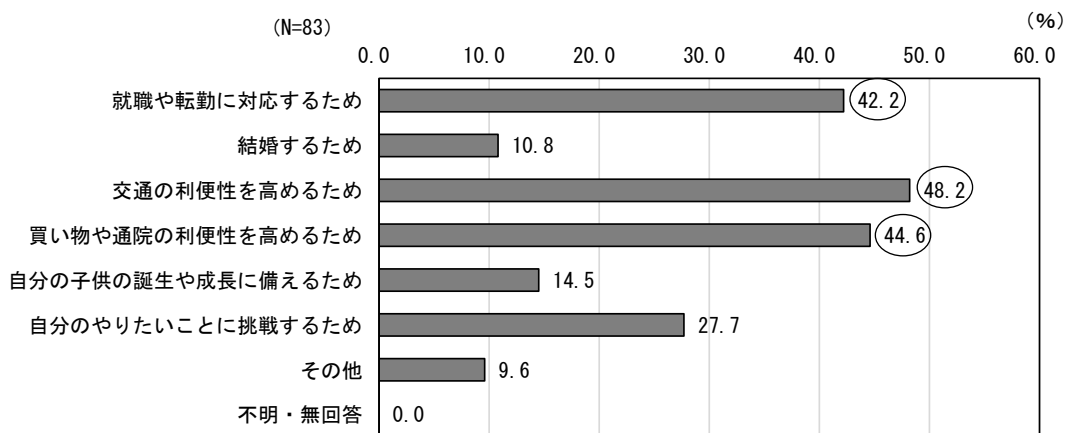


## 【定住に関すること】

- 今後も南越前町に「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計が56.2%を占めています。前回調査では南越前町に「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の合計が50.3%であり、「住み続けたい」気持ちを持つ方の割合が増加していると考えられます。【問9（1）】

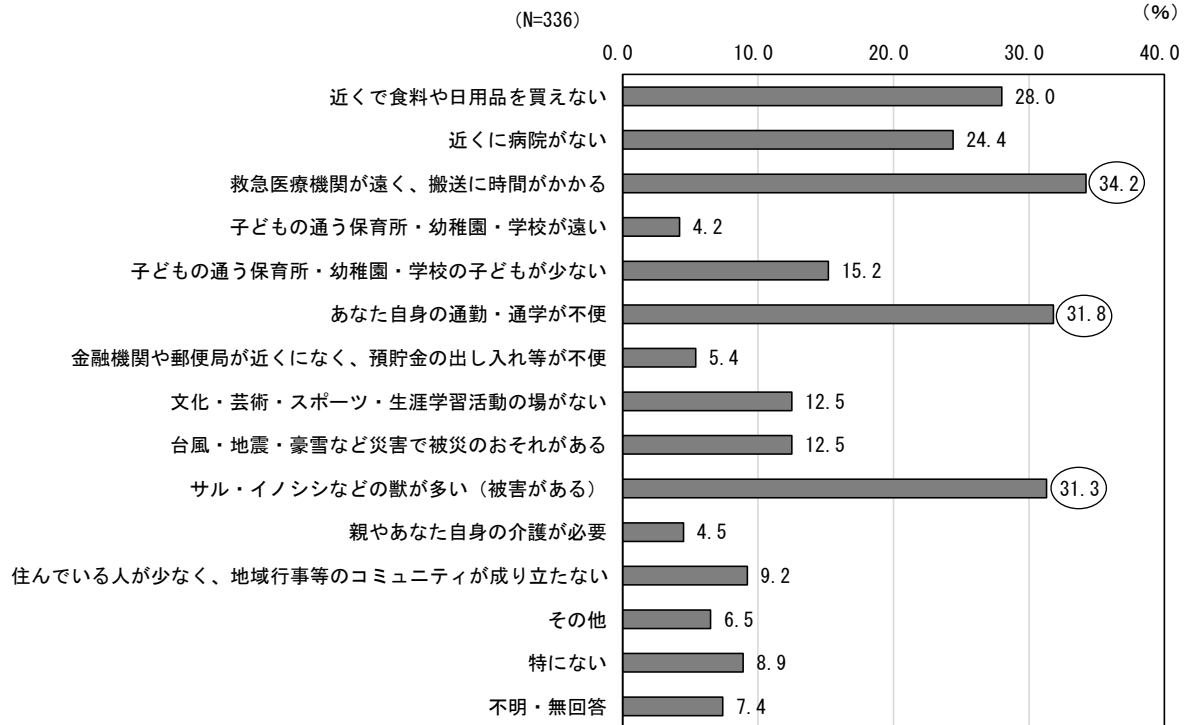


- 一方、「どちらかといえば転出したい」または「転出したい」と回答した方の理由としては、「交通の利便性を高めるため」が48.2%と最も多く、次いで「買い物や通院の利便性を高めるため」が44.6%、「就職や転勤に対応するため」が42.2%と続いています。また、「自分のやりたいことに挑戦するため」が27.7%と一定の割合を占めています。【問9（2）】

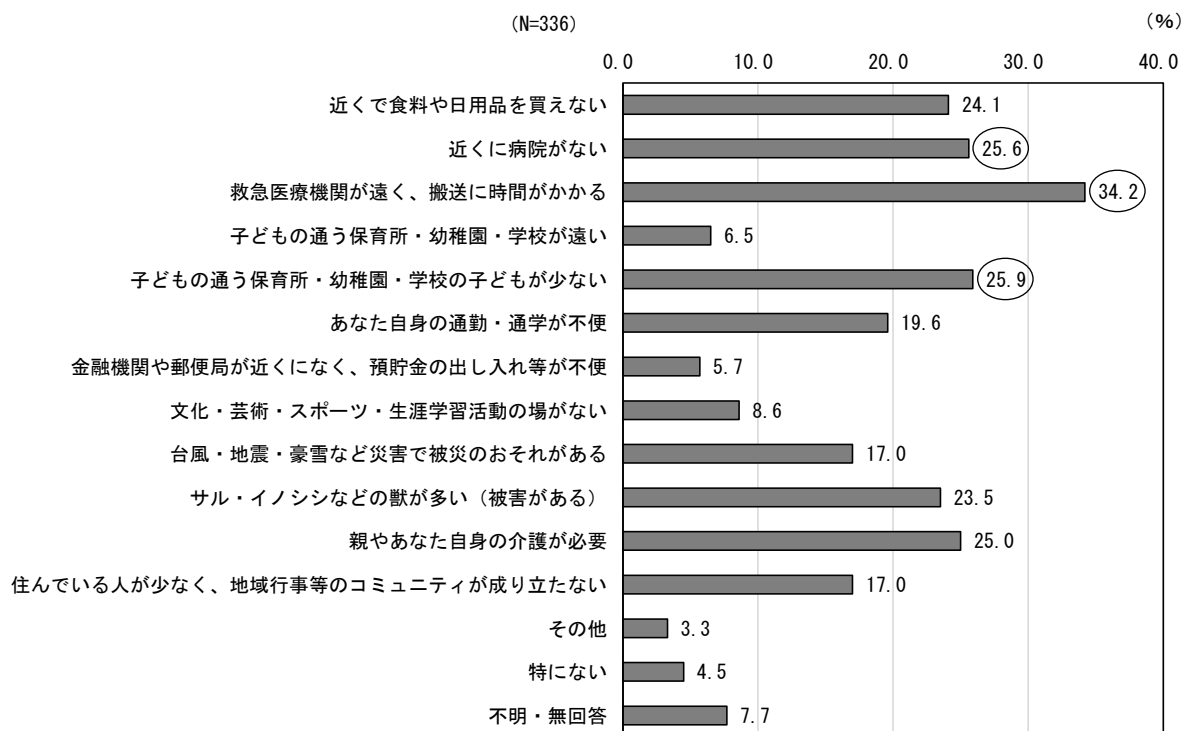


## 【暮らしに関すること】

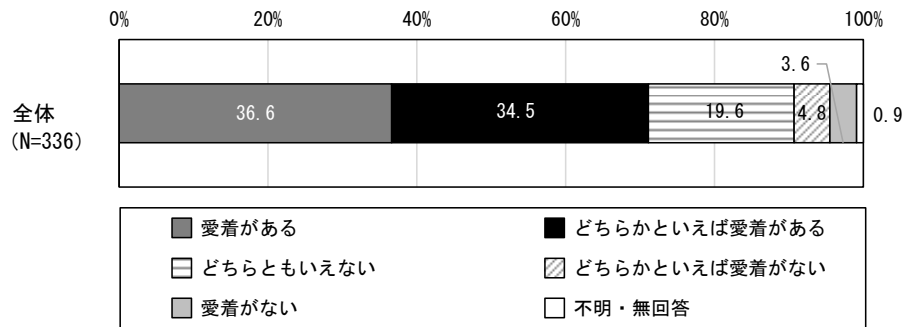
- 生活するうえで、現在の困りごとや不安なことは「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる」が34.2%と最も多く、次いで「あなた自身の通勤・通学が不便」が31.8%、「サル・イノシシなどの獣が多い（被害がある）」が31.3%となっています。【問 11】



- 10年後の生活を考えたとき不安なことは、「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる」が34.2%と最も多く、次いで「子どもの通う保育所・幼稚園・学校の子供が少ない」が25.9%、「近くに病院がない」が25.6%となっています。【問 11】



- 南越前町に「愛着がある」が 36.6%、「どちらかといえば愛着がある」が 34.5%となっています。前回調査より、「愛着がある」が 1.6 ポイント減少し、「どちらかといえば愛着がある」も 4.1 ポイント減少しています。【問 12 (1)】

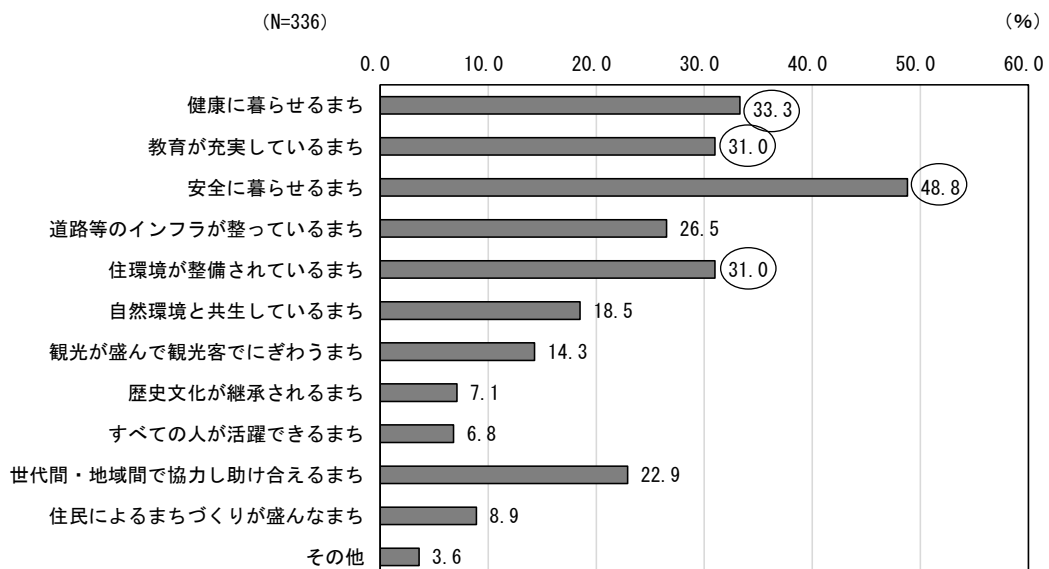


### 【まちづくりに関すること】

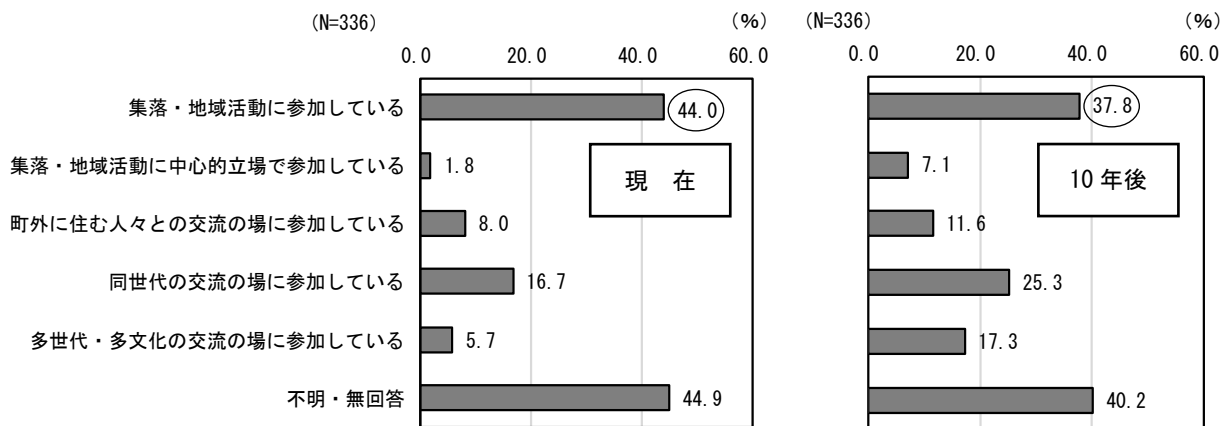
- これまで進めてきた町の取組みの現在の評価（満足度）と今後への期待（重要度）については、満足度と重要度ともに「暮らしの安全」の割合が最も多く、次いで「結婚・出産・子育て環境の充実」、「定住・移住・交流の促進」、「雇用の安定」の順となっています。【問 13】

項目	現在の評価（満足度） 「とても満足」「やや満足」 の合計 (%)	今後への期待（重要度） 「とても重要」と「やや重要」 の合計 (%)
雇用の安定	12.8	61.6
定住・移住・交流の促進	25.0	65.8
結婚・出産・子育て環境の充実	42.2	74.4
暮らしの安全	56.0	75.6

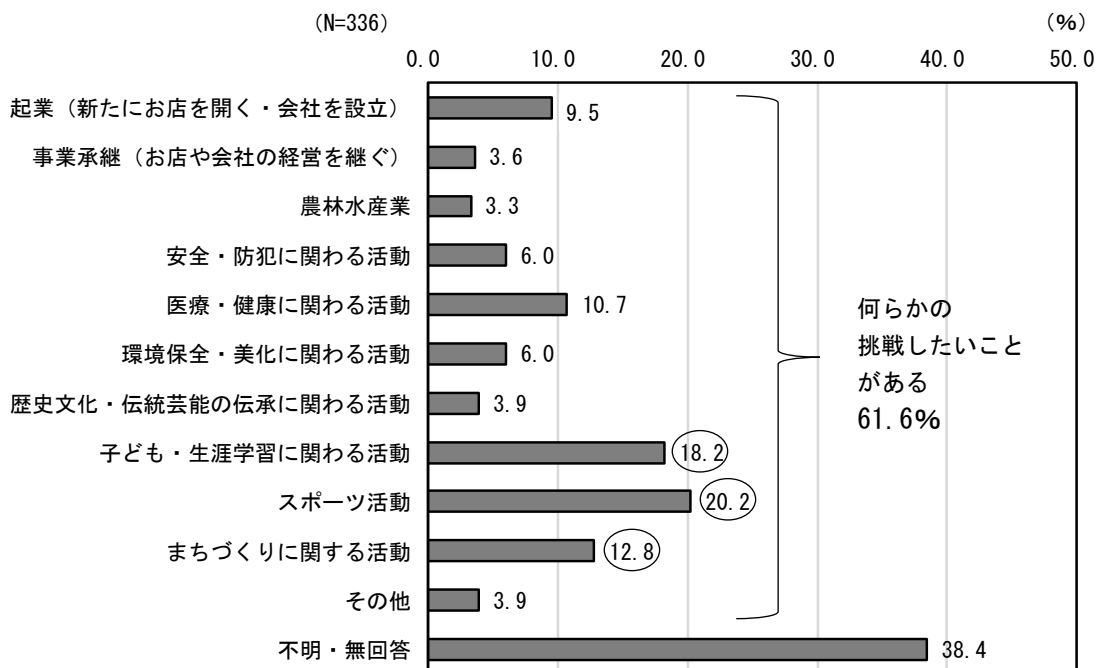
- 今後進めていくべき町の取組みについては、「安全に暮らせるまち」が 48.8%と最も多く、次いで「健康に暮らせるまち」が 33.3%、「教育が充実しているまち」と「住環境が整備されているまち」が 31.0%となっています。【問 14】



- 暮らしの中における交流について、現在参加しているものは「集落・地域活動に参加している」が、44.0%と最も多くなっていますが、10年後も「集落・地域活動に参加している」が37.8%であり、現在より6.2ポイント減少しています。その他の交流については、現在よりも10年後の割合が増加しています。【問15】



- 南越前町において挑戦したいことについては、「スポーツ活動」が20.2%と最も多く、次いで「子ども・生涯学習に関わる活動」が18.2%、「まちづくりに関する活動」が12.8%となっています。起業、事業承継、農林水産業を合わせると16.4%であり、仕事に繋がる分野に挑戦したい方が一定割合いると考えられます。また、61.6%が南越前町で挑戦したいことがあることが分かります。【問16(1)】



- それら（挑戦したいこと）の実現に向けては、「人口が少ない」「サポート体制がない」などの不安の声が挙げられました。【問16(2) 記述式】